



アメリカ ボストン

留学のきっかけ

もともと、将来のために高校や大学のどこかで一度留学をしてみたいと心の底で思っていた。そんなときにトビタテ留学JAPANなどの留学プログラムの紹介の用紙を見て高校でも留学できるんだと知り、興味を持った。いろいろな留学プログラムを見ていく中で、京都市や国が主体となっていて行われているもの以外に、洛北高校独自の留学プログラムがあると知った。部活の去年参加した人から話を聞いて、応募対象が洛北生だけで、当選する確率も高いということも教えてくれた。他の留学プログラムよりも当選しやすくチャンスだと考えたので申し込みした。また、MITやハーバード大学といった世界でも有名な大学、Googleなどの世界の先をいく企業を目の当たりにできる機会はこの先の人生でも滅多にないと思い、より興味を持った。

留学生活全般

一番の思い出

ハーバード大学のキャンパスツアーが一番記憶に残っている。将来に向けて考える時期である高校生の時に、世界でも有名な大学での様子を直接見れた事もあって心に残っている。研究室を見学したりしたが、コンピューターなども最新の機材が多く、予算も多くかけられていると感じた。また、ハーバード生に気になることをたくさん質問でき、異なった視点からや、より大きい視点で物事を考えられたと思う。ハーバードは学部ごとに図書館があるが、それがとても大きくて驚いた。

英語学習

ハーバードやMITの学生が少し日本語の単語を混ぜながら英語でわかりやすく、現地のことや大学のことを教えてくれた。また、英語の説明の中に日本語の単語などを挟む時のタイミングが絶妙で効果的だったのに驚きました。どのように、どんなタイミングで言葉を使ったら相手に効果的に伝わるのか考えさせられた。そして、口だけでなく、体全体を使って表現するなど、相手への伝える姿勢も学ぶことができた。

授業外の活動

プログラムの大学での講義や企業訪問の他にも、お昼ご飯を食べに行ったり、スーパーに買い物に行くときなど学びになった。お店でどの料理がおすすめか、辛くないのか聞いたり、楽しみながら、文化に触れられる機会があった。街ではハンバーガーショップよりも、サンドウィッチを売っているお店がとても多かった。そして、大学の食堂などでは、アメリカ固有の料理はより、メキシコ系や中華系などの、アメリカ以外の国の食べ物も多く見られた。



留学したことで学んだこと、得たもの

アメリカに行く前は、ボストンの治安は悪いというイメージを持っており、地下鉄に乗っても安全なのかと思っていた。実際に行ってみると、思っていたよりもきれいで日本の地下鉄と大きく変わらないとわかった。また、電車が来る時間もほとんど時間通りに来るので、海外の電車は遅延するというイメージを持っていたが、イメージだけで先走るのではなく、実際に行って直接確認してみることも大事だと感じた。

また、現地の人は何を話す時でも自信げに、そして堂々と話す姿勢が印象に残っている。それはハーバード大学生だけでなく、街全体でそう感じる場面がいくつもあった。例えば、ハンバーガーショップに行ったときには自分たちが向こうの人たちにとって外国人であるにも関わらず、喋りかけてくれた。もし自分が逆の立場だったら話しかけづらいと感じてしまうが、気軽にできるのがすごいと思った。私は英語は日本語よりダイレクトに伝えやすい言語だと向こうで過ごして感じ、体全体を使って表現することからもよりそう感じた。向こうで案内をしてくれたアラさんはなぜを大切に考えてほしいと私達に伝えていた。私は日本はほとんど同じ民族から構成されているが、アメリカは日本よりもたくさんの人種で構成されているので、伝えることに対して、日本とは異なる感覚を持っていて、英語だとよりダイレクトに伝わると感じがあると考えたりと、自分の世界を広げるいい経験になったと思った。

今後の進路や夢、これから取り組もうと思っていること

ハーバード大学の学生に自分の学部はどうやって決めたのか質問すると、ハーバード大学では一、二年生の間に自分の好きな分野や興味のある授業に文系、理系、関係なく授業を自由に取れるそう。そして、その選択した授業の傾向をもとに自分の行く学部を決めるそう。しかし日本はほとんどの大学が受験するときにはどの学部に行くのか選ばなければならないので、大学のオープンキャンパスに行くことをアドバイスしてくれた。だから、自分の将来のためにオープンキャンパスに参加して、将来について考えるようにしたい。そして、GLPでは知らない英単語で苦戦したので、英語の語彙力をつけるために、英単語を覚えるようにしたい。

これから留学される方へのメッセージ

この洛北GLPではアメリカに行く前に、若手起業家の話を聞けたり、英語スピーチの練習をしたりなど、日本でもたくさんのプログラムがあります。特に英語のスピーチ発表練習などでは先生が英語スピーチや会話の時の注意点を教えてください、自分のスピーチを添削してくださいと、アメリカ研修に向けた先生方の手厚いサポートもあり資料に書かれていない魅力の一つです。

英語のスピーチもホテルでも練習するぐらい、一生懸命準備する雰囲気がGLPにあって、自分もやろうと思って、練習できた部分があった。現地でハーバードの学生を前に練習してきたものを、発表できた時の達成感はなかなか味わえないものなので、ぜひ経験してみてください。





アメリカ ボストン

留学のきっかけ

私が留学へ踏み切ったきっかけは大きく分けて3つあります。まず一つ目は自分のやりたい事を決め、深める事です。私は昔から父に「何がしたいのか」とよく問いかけられて自分自身でもそれについて考えることが多く、初めての留学としても調度良いと思ったからです。2つ目は実は私はアメリカ国籍を持っているので使えるうちに使っておこうと思ったからです。最後に3つ目はリーダーといえ、コミュニケーションが必要と考え、その極意やコツを現地の人を通して学ぼうと思ったからです。

留学生活全般

一番の思い出

最終日の個人でのMy Life Mission のスピーチ: 現地での研修の前に、このプログラムを通して見つけた自分のMy Life Missionをスピーチにして発表することがありました。内容を覚えるだけでなく、伝え方(アイコンタクト、ボディランゲージ、話すスピード、など)も工夫する必要があるためまず必死に覚えました。先生方との練習で修正しながら自分らしさを出して行くために工夫を考へるです。発表当日もとてもワクワクして楽しかったです。

英語学習

まず、GLPを通してネイティブの方の発音を聞く機会が沢山あったのでリスニングが鍛えられました。そして、最初は文法がしっかりしてないと伝わらないのではと心配になることが多々ありました。しかし、練習や研修を重ねるうちに一番大事なのは“伝え方”なのだと気づいてからは文法としての正しさは勿論、アイコンタクトやジェスチャーと言った、伝え方の方により重点的に練習するようになりました。

授業外の活動

ボストンのワークショップ以外でも現地の方と軽くコミュニケーションを取るうちに人柄に触れてアメリカ人の素晴らしさやいろんな考え方に触れて価値観の多様さを学びました。具体的にはお店で会計する時や、オーダーする時の何気ない会話がとても印象的でした。

留学したことで学べたこと、得たもの

私はこのプログラムを通して、チャレンジすることの楽しさ・素晴らしさを学びました。確かに誰だって初めてのことで「自分の英語がうまく伝わらなかったらどうしよう」とか思いました。しかし、一度踏み込んでしまえば意外と楽しく、いつの間にかハマっていました。そしてディスカッションすることに対する抵抗感がなくなりました。自分の意見を伝え、それに加え相手の意見も尊重し取り入れることで更に良いものへと昇華する喜びを学びました。

今後の進路や夢、これから取り組もうと思っていること

私はこのプログラムでチャレンジ精神と相手の意見を尊重してより高めていく力を得ました。これからはあらゆる困難も恐れずに飛び込み、楽しんでいけるようになりたいと考えています。そして、このプログラムを通して触れ合った方々や環境への感謝を忘れずに精進していきたいです。アメリカの街でいろいろな人とのさりげないコミュニケーションがとても嬉しかったので、私もすれ違った人には必ず挨拶などのちょっとしたコミュニケーションを大切にしていきたいです。

これから留学される方へのメッセージ

行くための理由は大雑把に言うなら、“何でもいい”だと思います。実際、中には私みたいに「やりたいことを見つけるため」と言う人やちゃんとした理由がある人も居ました。しかし、そんなことはやっているうちに自ずと分かってくるので問題ないと思います。何より大切なのはチャレンジすることで例え英語が苦手でも人と話すのが苦手でも少しでも興味があるなら行くべきだと思います。異文化に触れられるというのはとても貴重な体験でできるうちにやっておくと将来役に立つと思います。



種別: 洛北Global Leadership Program
期間: 1週間 留学時の学年: 1年



アメリカ ボストン

留学のきっかけ

GLPに参加したきっかけは主に二つあります。一つは充実した事前学習です。英語のスピーチを現地で行うことに対してGLP参加を申し込む当時はあまりイメージを持てませんでした。事前学習でそれに向けたサポートがしっかりされているということだったので不安に思うことはありませんでした。もう一つは現地の有名大学と関わるプログラムです。個人では関わる機会がないであろうハーバード大学やMITの学生と交流できたり、見学できたりする機会があることにとても心を惹かれました。

留学全般

一番の思い出

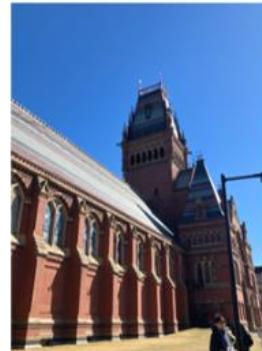
スピーチコンテストです。ハーバード生の前でスピーチする二度とない機会に向けてたくさんの準備をしてきました。スピーチのお題は、マイ・ライフ・ミッション、つまり将来の夢です。まず将来何をしたいのかを具体化するために自分を見つめ深く考えました。そしてスピーチの形に落とし込み、表現に工夫を加え、自信が持てるまで直前まで練習しました。本番ではもちろん緊張はしましたが自分の実力を発揮でき、やり切ることができました。努力が報われた経験はこの先も忘れないでしょう。

英語学習

授業で学ぶ英語とは異なり、日常生活で人とコミュニケーションを取るための、あるいはスピーチで自分を表現するための英語を学び身につけることができました。実際ホームステイ先の人たちと会話する時にも事前学習で学んだ知識を活かせました。また事前学習で英語の重要性を実感し、授業の英語にも前向きに取り組んだり、個人的にYouTubeで英語の配信を聞いたり英語そのものにも能動的に学習できるようになりました。

授業外の活動

中3から高2まで混ざってお互い高め合う活動はとても刺激的でした。事前学習を含めると長い期間ともに活動するので、学年を超えた交友関係が生まれたり、学年の障壁なく意見を率直に言い合ったりGLPだからこそ人間関係を築くことができました。留学先で不安を多く抱えることなく楽しむことができたのも事前学習で生まれた絆があったからこそだと感じます。



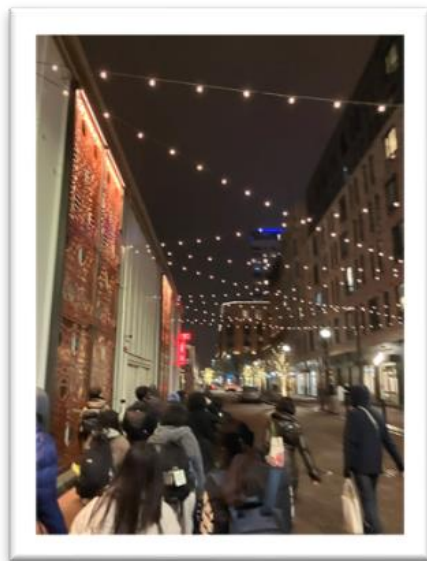


留学したことで学んだこと、得たもの

留学先の食文化には非常に驚かされました。スーパーに売っている食品をみると見たことのない野菜があったり、商品一個の大きさが日本よりも大きいものがあったり海外の当たり前を知ることができました。さらにレストランに行けば形式そのものが大きく異なっていたり、チップ文化だったり、残飯の持ち帰りだったり発見の連続でした。チップ文化は留学前から知識として持っていましたが、実際に体験して文化の違いを実感したからこそ留学先の文化に対する理解を深められたと思います。

今後の進路や夢、これから取り組もうと思っていること

僕のマイ・ライフ・ミッションは美味しくて健康に良い菓子を開発することです。これを目指す理由は世界的に生活習慣病が問題になっている中、無理に食事を制限することなく現状を変えたいという思いがあるからです。これを実現するための知識や技術をつけるために日頃情報収集をしたり、実現できる進路を探りそこに向かってまずは受験勉強に一心に取り組んでいきます。



これから留学される方へのメッセージ

忘れてはいけないことは、自分自身が留学に行く明確な目的があってこそ実りある留学となることです。留学に行く前に事前学習などを通して一体何をしたいのか、何を学びたいのかを具体化してみてください。明確な目的を持つからこそ海外の文化に触れたときに、日本との違いや自分が当然だと思っていたことと異なることに気づけるのだと思います。

そしてもう一つ、自分の英語に自信を持ってください。もちろん留学先ではネイティブを相手にして、うまく英語で表現できなかったり聞き取れなかったりする経験はすると思います。しかし、自信を持って身振り手振りを使って自分の意見を表現したいという姿勢や相手の発言を理解したいという姿勢があればコミュニケーションは案外取れるものです。もちろん英語力はあってなんぼですが、英語力を不安には思わないで自分に自信を持って留学に臨んでほしいと思います。